

2022年度 学校自己評価報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年5月10日

学校法人神戸学園

神戸動植物環境専門学校

目 次

I. 学校の現況

II. 評価の基本方針

III. 重点目標

IV. 評価ごとの記述

V. 評価項目

1. 教育理念・教育目標

2. 学校運営

3. 教育活動

4. 学習成果

5. 学生支援

6. 教育環境

7. 学生募集

8. 財務

9. 法令等の遵守

10. 社会貢献

1. 学校の現況

1. 学校名

動植物環境専門学校

2. 所在地

兵庫県神戸市東灘区向洋町中1-16

3. 沿革

学校設置認可年月日 神戸動植物環境専門学校 昭和63年10月5日

昭和63年 神戸パストゥール・バイオ専門学校工業専門課程として認可を受ける

平成元年 財団法人ルイ・パストゥール医学研究センターの唯一の提携教育機関として「神戸パストゥール・バイオ専門学校」開校。以後、多くのバイオテクニシャンを輩出。

平成14年 専門学校「アートカレッジ神戸」が学校法人神戸学園に設置者変更し、姉妹校となる。

平成15年 校名を「パストゥール・バイオ専門学校」から「神戸動植物環境専門学校」に変更。生命科学科を設置。兵庫県下では初めての動物系の認可を受けた専門学校となる。

平成19年 高等課程設置認可アニマルサイエンス学科（3年制）を設置

平成25年 兵庫県内で最大の動物系専門学校となる

平成26年 理事長 蔣 惠萍 就任

平成27年 学校法人神戸学園創設50周年オープニングセレモニー開催

平成28年 学校法人神戸学園創設50周年エンディングセレモニー開催

平成29年 学校法人神戸学園専門学校アートカレッジ神戸に国際コミュニケーション学科を設置

令和元年 学校法人神戸学園神戸動植物環境専門学校に神戸学園水族館AQATEXTオープン

令和2年 学校法人神戸学園 大規模修繕工事実施
学校法人神戸学園神戸動植物環境専門学校にトリミングスタジオLIEN 設置

学校法人神戸学園専門学校アートカレッジ神戸に通信制学科設置

令和3年 学校法人神戸学園創設55周年記念式典開催

学校法人神戸学園専門学校アートカレッジ神戸にDXビジネス学科設置

令和4年 学校法人神戸学園動植物環境専門学校に動物看護師学科設置

4. 学科の構成

専門課程

- ・工業専門課程

生命科学科

動物看護師学科

研究科

高等課程

- ・工業高等課程

アニマルサイエンス学科

5. 学生数及び教職員数

- ・2022年5月1日時点学生数：606名

- ・2022年5月1日時点職員数：85名

6. 施設の概要

学校建物面積：2,810 m²（設置者所有 2,729 m²、借用 81 m²）

学校土地面積：2,845 m²

II. 評価の基本方針

自己評価は、本学の指名である学生・保護者満足を目指し、日々着実に経営し、職業教育を行うことで、その成果として業界への就職実績を上げるという目的に対して、それぞれの項目ごとの進捗を判断するものとする。

III. 重点目標

1. 学生募集への積極的な取組

定員数を充足する学生の入学を実現する。

2. 社会への即戦力を輩出するための実践的な教育の実現

- ①教育理念・教育目標の周知徹底を図り、②教育環境を整え、③日々の教育活動を通じて、④学習成果を高め、具体的には学生の出席率の向上及び退学除籍率の低減を実現する。

3. 学生の就職率の向上

学生支援を通じて、卒業生の就職率の向上を実現する。

4. 適切な学校運営法令順守等

適切な学校運営を行うとともに、法令順守体制を整える。

IV. 重点目標 評価ごとの記述

1. 学生募集への積極的な取組

定員数を充足する学生の入学を実現する。

【具体的な取り組み】

兵庫県内の高等学校への訪問を強化し、2021年4月から2022年3月にかけて各月進路担当者及び学校長に訪問し、本学の学校説明や教育方針・就職活動等を伝えると共に、入試制度やオープンカレッジ等のイベントの案内を行った。

2021年3月から2022年3月にかけて新型コロナウイルス感染再拡大の為、イベントが中止になる期間がありつつも、コロナ対策の徹底によるオープンカレッジとオンラインツールを利用した進路相談会を実施した。さらに、兵庫県内を中心として一時的に終息した夏以降、ガイダンス業者主催の校内ガイダンスや会場ガイダンスに参加した。

各種媒体による広報は、パンフレット、募集要項、ホームページ、各種ポスター、SNS・YouTube等、不特定多数に情報発信している。本学の魅力や実績を伝えられる広報物を、入学対象の生徒に見てもらい、本学を選ぶ手段の一つとなるよう製作し、紙媒体の広報物は資料請求者および高等学校関係機関に配布した。

上記の施策の結果、昨年度の入学者数には及ばなかった(昨年度:274名、今年度:246名)、今年度から開設される動物看護師学科への入学者も順調に伸びており、これは本学の広報活動が浸透しており、受験者やその保護者からも信頼していただける運営ができていることを示している。

【所感】

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

各高等学校への訪問が本格的に実施されており、進学担当者だけでなく学校長・理事長にも本学の教育理念やビジョンに共感頂き、学生募集でご協力を頂けた。本学へ進学実績のある高

等学校に対しては、定期的な訪問を通じて卒業生の状況を逐一報告し、進路担当者および担任に安心して頂けるよう広報を行った。また、本校に入学を検討している生徒に対しては、ただパンフレットや募集要項をお送りするのではなく、本学の取り組みについて電話での学校説明を通じてお伝えしたことで、多くの出願者を得ることができた。

2. 社会への即戦力を輩出するための実践的な教育の実現

- ①教育理念・教育目標の周知徹底を図り、②教育環境を整え、③日々の教育活動を通じて、④学習成果を高め、具体的には学生の出席率の向上及び退学除籍率の低減を実現する。

【具体的な取り組み】

神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を設置し、「動物が好き、ひとが好き、学校が好き」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この教育理念は、第一に授業（カリキュラム・シラバス）、第二に就職指導として具現化している。

第一の授業（カリキュラム・シラバス）については、動物福祉学的な観点から実施をし、学生一人ひとりの個性を尊重したキャリアプランを立てることで「動物が好き、ひとが好き、学校が好き」の基本理念を浸透させている。また、各クラスにおいて専門分野で必要な実技科目を取り入れ、社会に必要な技術や知識といった能力に焦点を当てた授業を行っている。このようなアプローチはアクティブラーニングの潮流に合致するものでもあり、主体的・能動的な態度をもった学生の育成という面でも評価できる。

第二の就職指導について、インターンシップや就職活動の際に飼育動物の適正な管理法や扱い方、動物業界の現状など多くの場面で問題や葛藤に直面する。その問題解決や葛藤を乗り越えるために、「動物が好き、ひとが好き、学校が好き」という理念にもとづいたサポート・指導を行っている。これは、動物業界の理解につながり、将来の動物業界に求められる人材の育成にもつながっていると認識している。

神戸動植物環境専門学校は、社会への即戦力を輩出するための実践的な教育の実現のための取り組みとして、最先端の現場に即した施設環境を具現化している。一例として、優れたトリマーを輩出するために、2020年6月には「トリミングサロン リアン」を校内に設置した。これは実際のサロンと同じ環境・設備のものとなっている。こういった実践を身につけることの出来る設備環境と、基礎的な知識を身につける座学を組みあわせることで、学習効果を高めている。さらに、学生の出席率の向上および退学除籍率の低減のために、一人一人の面談時間を確保し、希望を聞き進路に対する意欲を醸成することに務めた。

【所感】

評価項目	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4

(専門分野の特性が明確になっているか)	
学校における職業教育の特色は定められているか	3
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

本学は動物業界の発展を目標に、業界で必要とされる人材を輩出するためにトリミングサロン設置など、常にチャレンジングな教育施策に取り組んでいる。こういった時代の最先端を先読みし、必要な施策を実践する学校は他には無い。

特に動物看護師が国家資格化されることに伴い、カリキュラムの作成と施設設備の拡充を行った。本学の姿勢は時代のニーズにマッチしており、後述する高い就職率の実現だけでなく、日本有数の動物業界の施設へ就職することができていると認識している。

3. 学生の就職率の向上

学生支援を通じて、卒業生の就職率の向上を実現する。

【具体的な取り組み】

(1) 学生への技術指導と就職試験対策

本学の学生への技術指導と就職試験対策としては第一に「授業内指導」、第二に「個別指導」があげられる。

第一の「授業内指導」について、主に当校のカリキュラムにある科目、1年時には「ビジネスマナー」、2年時には「就職演習」を軸として、社会人としてのマナーを身につけ、動物業界で活躍できる社会人の育成に取り組み、2020年度には96.8%の就職内定率を実現した。指導内容としては、面接や履歴書作成の指導などを軸に、実際の就職活動で能力を活かせることを目的としたグループワークの練習など、学生がより深い学びを得ることができるよう工夫を施し授業を行った。

第二の「個別指導」について、放課後の時間を利用した教師と学生のマンツーマン指導又は少人数指導における、面接指導および履歴書作成指導、企業とのメールのやり取りの指導である。これは、上記の内定率達成にむけての援助となった。また個々の学生のニーズに合わせた企業斡旋、企業情報の提供しマッチング作業を行っている。

面接指導や履歴書作成指導については、学生の個々の性質に合わせ、どんな企業相手にも通用できるように技術的向上と仕事ビジョンの育成に取り掛かっていた。

(2) 学内における就職説明会の実施

2021年度の取り組みとして、一昨年度に引き続き、学内企業説明会をオンラインで実施した。参加いただいた企業数は30だった。また、本校校長の対談や業界のトップの方々による講演会も同時開催し、業界に必要とされる人材になるための機会をコロナ渦でも失わないよう実施した。なお、説明会に参加させる際、教職員の働きかけとして社会人としてのマナーをしっかりと落とし込むことで、先方企業からの一定の評価を頂いた背景があった。

(3) その他の取り組み

その他の取り組みとしては主に動物関連施設への訪問活動があげられる。

2019年度より、過去に卒業生が内定を頂いた実績のある動物関連施設への訪問活動を実施。訪問先では卒業生の様子を確認させていただき、企業が抱える問題点や今後必要としている人材についての情報を聞き取り、企業と学生のマッチング作業を行っている。

また、もう一つの取り組みとして学生が企業インターンシップへ参加することに対しての柔軟な対応があげられる。基本は学校が長期休みの際に企業インターンシップへの参加となっているが、学生の出席率に影響が出ない程度で、企業側の要望に合わせて担当の職員が学生と企業間に入り個別対応を行っていた。

【所感】

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4
卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
進学・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	4

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

就職内定率は前年比より約10%向上した。これは、積極的な校内企業説明会の実施と、動物関連施設への訪問活動、積極的な学生個々へのサポート体制（情報斡旋や個別指導）を密にしたこと、そして授業カリキュラムの工夫・教職員の指導力の向上があったからだと言える。

4. 適切な学校運営法令順守等

適切な学校運営を行うとともに、法令順守体制を整える。

【具体的な取り組み】

認可団体である兵庫県との連絡を密にするため、担当者を設置し、兵庫県企画県民部教育課からの通知に対して、即座に本部及び学内組織で共有を図り、活動においての定例の会議を開催し報告を実施している。また令和5年より実施される愛玩動物看護師資格試験の所管となる生活衛生課との連絡も密に取り合い学科設置に向けた取り組みを行った。

法律顧問弁護士を設置し課題が起こった際の即座の質問を行える体制をとっている。

【所感】

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

定例の会議体と決定事項を顧問弁護士団に法的問題ないかを確認し常に法令遵守を心掛けています。昨今の教育現場は保護者とのかかわり、学校・学生を取り巻く社会とのかかわりなど複雑な状況を呈しており、顧問弁護士団からの法的な視点からの助言は非常に役立っています。

以上

項目評価

1. 教育理念・教育目標

自己評価項目	評価
教育理念・教育目的は、学校の教育上の特徴を示しており、かつ、法との整合性がある。	4
教育理念・教育目的は、具体的に明示され、実際の指針となっている	4
教育理念・教育目的は、社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
教育理念・教育目的は、特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

2. 学校運営

自己評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

3. 教育活動

自己評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	3
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修などが行われているか	3

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

4. 学習成果

自己評価項目	評価
--------	----

就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

5. 学生支援

自己評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

6. 教育環境

自己評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

7. 学生募集

自己評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

8. 財務

自己評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

9. 法令遵守

自己評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

10. 社会貢献

自己評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切